



平成19年度 真の日本食・日本食材海外発信委託事業
品目別等広報活動

「香港における日本産牛肉広報活動」

実施報告書

平成20年3月

農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課

(委託先:株式会社 電通)

広報活動(広告・パブリシティ)の内、イベントのパブリシティ活動として、マスコミ各社(地元香港メディア、日本メディア)に対して、イベントの取材案内・当日の報道対応・事後のフォローを行った。

- 地元香港29媒体、在香港日本メディア・海外メディア21媒体、日本国内業界紙16媒体に案内状を発送(下記メディアリスト参照)。あわせて電話によるプロモーションを行い、イベント当日の取材を促進した。
- イベント当日に取材に来られなかった媒体に対しても継続的な情報提供を行い、事後の記事露出の促進を図った。

< 香港地元媒体 >

	総合紙	発行部数
1	AM730	280,034
2	Apple Daily 蘋果日報	298,777
3	Hong Kong Daily News 新報	60,000
4	Hong Kong Economic Times 經濟日報	74,628
5	Metro Daily 都市日報	936,000
6	Ming Pao Daily News 明報	97,209
7	Oriental Daily News 東方日報	550,000
8	Sing Pao 成報	74,965
9	Sing Tao Daily 星島日報	73,118
10	The Sun 太陽報	500,000 (中国大陆での流通分を含む)
	食・レジャー誌(週刊・隔週刊)	発行部数
11	Eat and Travel 飲食男女	50,154
12	HK Magazine	79,681
13	U Magazine	80,000
14	Weekend Weekly 新假期	90,000
15	Lisa's Magazine 味道	41,308
	総合誌(週刊・隔週刊)	発行部数
16	East Week 東周刊	120,000
17	Ming Pao Weekly 明報周刊	60,261
18	Three Weekly 3周刊	60,336
19	Next Magazine 壹周刊	121,924
20	Oriental Sunday 東方新地	156,229
21	TVB Weekly TVB周刊	61,127
	ライフスタイル誌(週刊・隔週刊)	発行部数
22	Metropop	118,462
	業界紙誌	発行部数
23	FoodPacific Manufacturing Journal	16,900
24	China Food Manufacturing Journal	
	テレビ	
25	Asia Television - Local 亞洲電視本港台	
26	Asia Television - World 亞洲電視國際台	
27	Cable TV 有線電視	
28	Television Broadcast - Jade 無線電視翡翠台	
29	Television Broadcast - Pearl 無線電視明珠台	

*  英字媒体

< 在香港日本メディア・海外メディア >

日本メディア(香港支局)		
1	朝日新聞社	
2	読売新聞社	
3	日本経済新聞社	
4	共同通信社	
5	時事通信社 (Japanese)	
6	テレビ東京	
7	日経BP社	
香港の和文紙誌		
8	香港ポスト	
9	Weekly Hong Kong	
10	コンシェルジェ香港	
日本メディア(北京・上海・広州支局)		
11	NHK (広州支局)	
12	日本テレビ/読売テレビ (北京/上海支局)	
13	TBS/毎日放送 (北京/上海支局)	
14	フジテレビ/関西テレビ (北京/上海支局)	
15	テレビ朝日/朝日放送 (北京/上海支局)	
16	毎日新聞 (北京/上海支局)	
17	産経新聞 (北京/上海支局)	
18	中日(東京)新聞 (北京/上海支局)	
海外メディア		発行部数
19	Financial Times	28,710
20	International Herald Tribune	76,925
21	Wall Street Journal	80,514

*  英字媒体

< 日本国内業界紙 >

日本の食品・畜産専門媒体			
1	(株)日本農業新聞	日本農業新聞	編集部
2	食肉通信社	週刊食肉通信	編集部
3	食品産業新聞社	畜産日報	編集部
4	日本食糧新聞社	日本食糧新聞	編集部
5	日本食糧新聞社	月刊 食品工場長	編集部
6	食品新聞社	食品新聞	編集部
7	食品産業新聞社	食品産業新聞	編集部
8	帝国飲食料新聞社	帝飲食糧新聞	編集室
9	外食産業新聞社	日本外食新聞	編集部
10	食糧タイムス社	食糧タイムス	編集部
11	日本産業新聞社	日刊食品経済	編集部
12	日刊経済通信社	日刊食品通信	編集部
13	商業界	食品商業	編集部
14	食糧経済通信社	食糧経済	編集部
15	CMPジャパン(株)	食品と開発	編集部
16	(株)フードリンク	フードリンクニュース	編集部

- イベントの概要を記した取材案内状を作成。
岩永副大臣及び作家の蔡瀾氏の氏名を記載しメディアの関心を喚起。地図の挿入を行いイベントの場所・日時を分かりやすく伝達。効果的な取材動員プロモーション活動のツールとして活用した。

<取材案内状(1ページ)>

2007年1月8日

報道関係 各位

日本産和牛肉プロモーションイベント 広報事務局

農林水産省「日本食材・日本食文化発信事業」
「日本産和牛肉プロモーションイベント」
【取材のご案内】

日時:2008年1月11日(金) 11:00～13:00 (受付開始 10:30～)

会場:ホテル・ニッコー・ホンコン GRAND BALL ROOM 2F

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本産牛肉の香港向け輸出が2007年4月から6年ぶりに再開されました。日本の農林水産物輸出促進イベントとして、プロモーションイベントを2008年1月11日(金)11時よりホテル・ニッコー・ホンコンで行います。

当日は、日本国農林水産省副大臣の岩永浩美が出席する他、著名な作家である蔡瀾氏による和牛肉のトークショーを予定しています。また、和牛肉を食材としたメニューもご試食頂けます。

ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご来場賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

<開催日時> 2008年1月11日(金) 11:00～13:00(受付開始 10:30～)

<会場> ホテル・ニッコー・ホンコン GRAND BALL ROOM 2F

<出席者(予定)> 日本国農林水産省 副大臣 岩永浩美

蔡瀾 氏(作家)

ほか

<内容> 主催者挨拶(日本国農林水産省 副大臣 岩永浩美)

日本産和牛肉商品説明

試食会

蔡瀾氏のトークショー

ほか

<取材案内状(2ページ)>

<アクセス>

ホテル・ニッコー・ホシコン(72 Mody Road, Tsimshatsui East, Kowloon, Hong Kong)



* なお、誠にお手数ではございますが、ご出席・欠席のご都合および御社名、ご所属、ご芳名、電話番号、ご出席者数をE-mailにて下記宛にお知らせください。

返信先： ○○○○@○○ co.jp (E-mail)

<本件に関するお問い合わせ先>

農林水産省「日本食材・日本食文化発信事業」

日本産和牛肉プロモーションイベント 広報事務局

担当： ○○○○

TEL： ○○○○

FAX： ○○○○

携帯： ○○○○

E-mail： ○○○○

地元香港メディアのために英語・広東語でも取材案内状を用意し発送を行った。

- 日本メディア11名、中国メディア20名、合計31名の報道関係者が来場。
特に地元香港媒体については、主要新聞と雑誌の経済担当・食担当記者が来場。
地元メディアにおける日本産和牛肉関連報道のきっかけづくりに成功した。

< 出席メディア >

No.	媒体名	所属	氏名	電話	出席者数
日本語媒体					
■ 中央紙					
1	讀賣新聞	香港支局			1
■ 通信社					
2	時事通信社	香港支局			1
3	共同通信社	香港支局			1
■ 週刊/隔週刊誌 (食・レジャー)					
4	HK Post	編集部			1
■ 月刊誌 (食・レジャー)					
5	Needs・コンシェルジェ	經濟部			4
		經濟部			
		經濟部			
■ テレビ					
6	テレビ東京	香港支局			3
				計:	11
香港媒体					
■ 総合紙					
7	AM730	特集部			1
8	Oriental Daily News 東方日報	經濟部			2
9	Ming Pao Daily News 明報	經濟部			1
10	Hong Kong Daily News 新報	經濟部			1
11	Hong Kong Commercial Daily 香港商報	經濟部			1
12	Sing Pao 成報	ニュース			1
13	Wen Wei Po 文匯報	特集部			1
■ 週刊・隔週刊誌 (食・レジャー)					
14	U Magazine	經濟部			3
		經濟部			
		広告部			
15	Weekend Weekly 新假期	經濟部			2
		經濟部			
■ 月刊/隔月刊誌					
16	Senasia Publication Group (Golf Vacations)	編集部			1
17	Take Me Home	広告部			1
■ テレビ					
18	Cable TV 有線電視	エンターテインメント			2
19	Now TV Jiayu (Home entertainment) Channel 家娛頻道	"飲食新國度"			2
20	on.cc	特集部			1
				計:	20
				総計:	31

- 来場したメディアに対してニュースリリースを配布。
文中で「和牛統一マーク」登場の意義を訴求するとともに、安全で良食味な日本産和牛肉の特徴を分かりやすく伝達。香港における日本産和牛肉紹介時のキーメッセージ構築を図った。
イベント後の掲載プロモーション活動においても、地元メディアに対するメッセージ訴求の基礎資料として活用した。

< ニュースリリース (1 ページ) >

報道用参考資料

2008年1月11日

日本国農林水産省

～「和牛統一マーク」が海外に初登場～

香港で日本産和牛のイベントを開催

岩永浩美農林水産副大臣や、香港の作家・蔡瀾氏が出席し
おいしくて安全な日本産和牛肉の特徴を紹介

日本国農林水産省は1月11日(金)に、日本産和牛肉のセールスプロモーションイベントを、中華人民共和国香港特別行政区のホテル・ニッコー・ホンコンで開催します。このイベントでは、日本で生まれ育ち、血統が証明された和牛肉であることを分かりやすく伝えるため、日本国内で公募し決定した「和牛統一マーク」を海外のレストラン・小売業者等に対して初めて発表します。また、岩永浩美日本国農林水産副大臣のほか、日本での滞在経験があり食への造詣も深い香港の作家 蔡瀾氏がトークショーに出席し、美味で安全な日本産和牛肉の特徴などを紹介します。



< 和牛統一マーク >

< ニュースリリース (2 ページ) >

和牛は厳選した飼料を与えられ、大自然に囲まれて大切に育成されており、その肉には旨みや香りが豊かで、上品で柔らかな食感を持つという特徴があります。その理由は脂質が豊富なうえ脂肪融点が低く、低温で容易に溶けるため、口当たりが非常に滑らかなことにあります。また、旨みのもとである良質なアミノ酸と不飽和脂肪酸が多いことも大きな要因です。すきやき、しゃぶしゃぶ、ステーキや中華など幅広い料理に適しており、料理をより美味にすることが可能です。

日本国農林水産省は1月11日に香港のホテル・ニッコー・ホンコンでプロモーションイベントを開催。岩永農林水産副大臣が出席し、日本産和牛肉の食味の特徴や日本食材・日本食文化の豊かさについて香港の人々にアピールします。

今回のイベントでは、日本産和牛肉の安全性とおいしさについて認知向上を図るため、日本で公募し決定した「和牛統一マーク」を日本以外の国・地域のレストラン・小売業者等に対して初めて発表します。このマークは日本全国からデザインを募集し、最優秀作品を選定して決定したもので、日本で生まれ育ち、血統が証明された和牛肉にのみ認められ、今後販売される商品のパッケージ等に添付されます。会場では、岩永浩美日本国農林水産副大臣が、来賓である香港立法會議員のトミー・チョン氏に「和牛統一マーク」パネルの贈呈を行います。

引き続き開催される日本産和牛肉の試食会では、食べ物や旅行に関する著作が多く、大ヒットしたお茶「暴暴茶」を考案したことでも知られる香港の作家の蔡瀾氏が「日本産和牛肉と和食」と題したスペシャルトークショーを行い、日本産和牛肉の魅力を得意の日本語を交えて披露します。

日本産和牛肉は日本国内でのBSE（牛海綿状脳症）発生を契機に2001年9月に香港特別行政区から輸入停止の措置を受けました。BSE発生以降、日本政府は飼料給与の規制や日本国内の全ての牛の履歴情報を追跡する「トレーサビリティシステム」の導入など、BSE対策を徹底し、継続することによって安全性をより向上させ、食肉処理施設における衛生管理や輸送時の識別等に関する条件をクリアし、2007年4月27日に日本と香港の両政府間で輸出再開の合意に至りました。

日本政府は農産物の海外輸出を2006年の約3,700億円から、2013年までに1兆円に拡大する方針であり、香港への和牛肉輸出も、日本の農業生産を活性化させるための農業政策の一環です。

<ニュースリリース(3ページ)>

【関連資料】

香港向け牛肉の輸出条件の主なポイント

BSE検査の結果が陰性であること、生後30ヶ月齢未満で、個体識別番号により生産農場までさかのぼれる牛由来の骨なし肉であること、特定危険部位が衛生的に除去されていることが主な輸出条件となります。

また、食肉処理施設に対しては、処理開始から包装・ラベル添付までの過程で香港向け製品であることを明確にすること、特定危険部位の処理時に専用器具を使用しその衛生的処理を行うこと、処理施設における衛生プログラムを決められた内容で文書化すること、処理内容を記録することなどが義務づけられています。



<日本産和牛肉>

<本件に関するお問い合わせ先>

農林水産省「日本食材・日本食文化発信事業」

日本産和牛肉プロモーションイベント 広報事務局

担当 ○○○○

携帯 ○○○○

TEL ○○○○

FAX ○○○○

- イベントに会場したメディアに対して式次第を配布。
スケジュールの流れや、フォトセッション時の登壇者立ち位置・氏名などの情報を提供することで、取材の便宜を図った。また、取材時のレギュレーションを事前に伝達することで、混乱の無い円滑なイベントの進行を促進した。

< 式次第 (1 ページ) >

農林水産省「日本食材・日本食文化発信事業」 「日本産和牛肉プロモーションイベント」 式次第・取材時のお願い

< 第1部:商品説明会(11:00～)>

- 11:00 開会挨拶 : 司会 (英語、通訳:日本語)
- 11:02 主催者代表挨拶 : 農林水産省 副大臣 岩永 浩美 (日本語、通訳:広東語)
- 11:05 来賓者代表挨拶 : 香港立法會議員 トミー・チョン (広東語、通訳:日本語)
- 11:08 輸出者代表挨拶 : 全国農業協同組合連合会 参事 西馬場 茂
(日本語、通訳:広東語)
- 11:11 輸入者代表挨拶 : 香港日本料理店協会 会長 フランキー・P・ウー
(広東語、通訳:日本語)
- 11:14 贈呈式・フォトセッション : 農林水産省 副大臣 岩永浩美
香港立法會議員 トミー・チョン
全国農業協同組合連合会 参事 西馬場 茂
香港日本料理店協会 会長 フランキー・P・ウー
(英語、通訳:日本語)
- 11:22 日本産和牛肉商品説明・質疑応答 :
農林水産省 生産局 畜産部長 本川 一善
農林水産省 消費・安全局 動物衛生課参事官 原田 英男
全国農業協同組合連合会 参事 西馬場 茂
(日本語、通訳:広東語)
- 11:42 閉会挨拶 : 司会 (英語、通訳:日本語)

< 休憩(11:43～11:55)>

< 第2部:試食会(11:55～13:00)>

- 11:55 試食会開会挨拶 : 司会 (英語、通訳:日本語)
- 11:57 乾杯の御発声 : 在香港日本国総領事館 総領事(大使) 佐藤 重和
(英語[一部広東語]、通訳:日本語)
- 12:15 スペシャルトークショー、囲み取材 : 蔡瀾 (広東語・日本語)
- 12:54 試食会閉会挨拶 : 司会 (英語、通訳:日本語)

< 式次第 (2 ページ) >

〔取材時のお願い〕

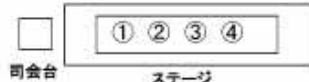
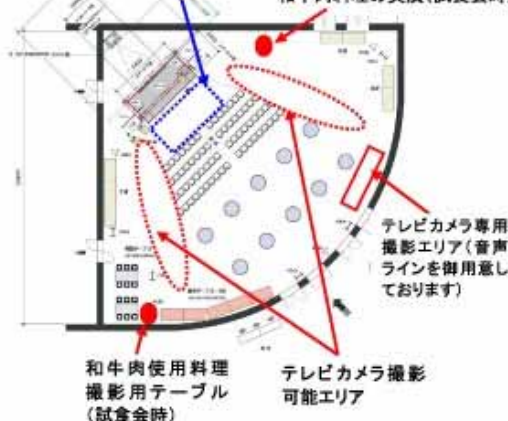
- プロモーションイベント及び試食会の間は、お手数をおかけしますがプレスバッジのご着用をお願い申し上げます。
- 恐縮では御座いますが、報道関係者専用のお席は設けておりませんので、空いているお席をご自由にご利用いただければ幸いです。
- TVカメラについては、会場後方に専用の撮影エリアをご用意しております。音声ラインをご用意しておりますので、御自由にご使用いただければ幸いです。また、会場の左右両側も撮影可能なエリアとなっております。
- 『贈呈式』『フォトセッション』の時間のみ、スチールカメラマンの方はステージ前から撮影することが可能です。なお、恐縮では御座いますが、後方からの視界を妨げないため座った姿勢にて撮影をお願いいたします。フォトセッション終了後は、ステージ前からお移動賜りたくお願い申し上げます。
- 『試食会』の時間に、会場後方の展示エリアにて日本産和牛肉を使用したメニューの撮影用のテーブルをご用意しております。
- また、ホテル・ニッコー・ホンコンの日本食総料理長 苗加昌彦による和牛肉料理の実演(『試食会』の間に行います。インタビュー等をご希望の際は、広報担当者にお声がけいただければ幸いです。
- トークショー後に、蔡潤氏の囲み取材のお時間を設けております。スタッフからお声掛けさせていただきますので、取材をご希望の方はお集まりいただきますようお願い申し上げます。
- 会場内での個別取材については、広報担当者にお問合せいただければ幸いです。

〔会場図〕

〔フォトセッション時立ち位置〕

贈呈式・フォトセッション時
スチール写真撮影位置

ホテル・ニッコー・ホンコン
日本食総料理長 苗加昌彦による
和牛肉料理の実演(試食会時)



- ① 全国農業協同組合連合会 参事 西馬場 茂
- ② 農林水産省 副大臣 岩永浩美
- ③ 香港立法會議員 トミー・チョン
- ④ 香港日本料理店協会 会長 フランキー・P・ウー

< 香港露出媒体掲載一覧 >

1. 新聞

No.	掲載日	媒体名	発行部数	見出し	記事の大きさ
1	1月12日	明報 (Ming Pao Daily News)	97,209部	和牛肉が新しいマークと共に香港に再登場	7cm x 19cm
2	1月12日	星島日報 (Sing Pao Daily News)	74,965部	高価な和牛肉が香港に再登場 統一マークで安心度アップ	32cm x 19cm
3	1月12日	香港商報 (Hong Kong Commercial Daily)	307,000部	香港で高まる和牛肉ニーズ	15cm x 5cm
4	1月16日	新報 (Hong Kong Daily News)	60,000部	日本産和牛が統一マークと共に香港に再登場	8.5cm x 10.5cm
5	1月19日	東方日報 (Oriental Daily News)	550,000部	統一マークで牛肉をチェックしよう	20cm x 16cm
6	1月21日	蘋果日報 (Apple Daily)	298,777部	A5級の柔らかい佐賀牛を蒸してみた	36cm x 29cm + 18cm x 22cm
7	1月23日	明報 (Ming Pao Daily News)	97,209部	統一マークを見分けて日本産和牛肉を買おう	12cm x 9cm
8	1月23日	文匯報 (Wen Wei Po)	185,000部	日本産和牛肉が高い評価で再上陸	9cm x 23cm
9	1月24日	財經新聞 (Hong Kong Economic Journal)	62,037部	和牛肉が再上陸	9.5cm x 8cm

2. 雑誌

No.	掲載日	媒体名	発行部数	見出し	記事の大きさ
1	1月18日	U Magazine	80,000部	和牛肉の購入時には統一マークに注目	10.5cm x 14cm

3. ケーブルTV

No.	放送日	媒体名	内容	放送回数	露出時間
1	1月11日	エンターテインメントニュース・チャンネル	蔡瀾氏がイベントで和牛肉の調理法を伝授	4回	2分24秒間

4. インターネット

No.	掲載日	媒体名	内容
1	1月19日	On.cc	統一マークで牛肉をチェックしよう

< 日本露出媒体掲載一覧 >

1. 通信社

No.	掲載日	媒体名	内容
1	1月11日	時事通信	農水省、香港で日本産和牛肉の販促イベント

2. TVキー局

No.	放送日	媒体名	内容	放送時間	露出時間
1	1月11日	テレビ東京「速水ウ！」	香港で「和牛統一マーク」発表	17時04分	34秒間

3. 新聞

No.	掲載日	媒体名	発行部数	見出し	記事の大きさ
1	1月22日	週刊食肉通信	30,000部	プロモイベント実施 香港で和牛肉アピール	8cm x 3.3cm +11cm x 9.9cm+20.3cm x 3.3cm



日本産和牛肉広報 Advertising

香港國際空港 バゲッジクレーム ライトボックス

実施期間：平成19年12月29日(土)～平成20年1月25日(金)

数量：10面



バスラッピング

実施期間 : 平成20年1月4日(金)～平成20年1月31日(木)

実施路線 : 計35台

89X、26、37、269B、35A、601、116、960、603、118、13X、42C、238X、42A、212、14、
641、87D、271、81C、969、671、681、619、42、106、111、109、18、18、27、109、905、
796S、101

広告フォーマット : Super T



屋外大型看板

実施期間：平成20年1月1日(火)～平成20年1月31日(木)

実施場所：Causeway Bay

数量：1



新聞・雑誌等への広告掲載

1. 新聞

掲載日	媒体名	発行部数	日刊/月刊
1月11日	東方日報	500,000部	日刊
1月11日	蘋果日報	297,289部	日刊
1月11日	Hong Kong Economic Times	87,593部	日刊
1月11日	South China Morning Post	104,415部	日刊
1月11日	日本経済新聞(香港/アジア版)	23,298部	日刊
1月11日	朝日新聞(香港版)	7,600部	日刊

2. フリーペーパー

掲載日	媒体名	発行部数	日刊/月刊
1月11日	Metro	333,244部	日刊
1月11日	Headline	600,645部	日刊

3. 雑誌

掲載日	媒体名	発行部数	日刊/月刊
1月4日	Prestige HK	20,000部	月刊

検証と評価

- パブリシティ活動においては、当初の目標どおりのメディア(記者)が参加した。香港には日本メディアの在香港支局が少ないため(TV局ではNHKとテレビ東京のみ)、日本側の参加が少なく、日本メディアでの露出は少なかった。料理評論家の蔡瀾氏の起用によって、日本産和牛肉の魅力をより説得力のある形で情報発信ができた。
- 広告活動では、日本産和牛肉のターゲットである購買力のある層(=富裕層)、関心のある層(=若者層)に効果的に接触できる媒体で広告展開できた。
- 公募ロゴを挿入するため、制作スケジュールが短縮され、年末年始で調整が厳しい局面もあった。しかし、香港当局の表現上の検閲もクリアし、農水省ご担当者様のご協力により、すばやい原稿チェックと進行を実現することができた。

考察

- 輸入再開と告知したことから、その次のコミュニケーション施策を具体化する必要があると思われる。特に、香港での食が盛り上がる時期にタイミングを合わせて、フォロー広告を検討することで、より定着させることを狙いたい。
- イベント来場者の今後のフォローをはじめとして、香港消費者向けのセールスプロモーション施策につながる表現開発・コミュニケーション開発が何らかの形で実現できると、更に強い成果につながっていくと思われる。
- イベントと同様であるが、アンケート時に大変な興味を示している商社の方もいたため、今後は、こういう試食会イベントで味と質の良さを体験してもらいながら、安全性のアピールや情報の素早い取得を目指しての日本産和牛肉のWEBサイトを充実させていくことが販売拡大と輸出量増加に貢献するものと考える。
- 飲食店向けのツールや贈答目的の商品コミュニケーション開発など、今後できることは、広報面でも多い。
- 限られた予算の中での効率的な広告展開および影響力のあるメディアに対してのパブリシティ活動ができた。